

# 大田のらくくシンポ

今年、農福連携で取り組んだこと

(本事業は「日本社会福祉弘済会」社会福祉助成事業の支援を受けています)

今年、農福連携事業として取り組んだこと

実地体験と座学講座

ZOOM勉強会

マチスコP

お米と小麦P

柿酢P

ライ麦P

凸凹まるしえP

## 6回の実地体験と座学講座

- ・5/17 NPO法人共働学舎にて、障がいのある人たちとの田植え体験(小谷村・信州共働学舎)
- ・6/5 水辺農園にて、田植え補植体験(木崎湖畔:本郷先生)
- ・7/10 Ferme36にて、ぶどう畑のワイヤー留めと草払い体験(大町市:矢野先生、大町中学校)
- ・9/25 水辺農園にて、はぜかけ体験(木崎湖畔 本郷先生)
- ・10/20 Ferme36にて ぶどう畑の手除梗体験と学習会(大町市:矢野先生、他事業所+大町中学校)
- ・12/4 エグモント留学生とユニバーサルキャンプの報告講座  
(エグモント留学生とご家族と内山早苗先生、一般公開講座+zoom)
- ・2/17 報告会(「農」の機能発揮支援アドバイザー 林先生)

## 6回のZOOM講座

- ・ 4/4 錦織正智先生(北海道総合研究機構)「クランベリー栽培講座1」
- ・ 4/18 錦織正智先生(北海道総合研究機構)「クランベリー栽培講座2」
- ・ 5/17 杉田健一先生(滋賀県NPO法人縁活理事長)「縁活の農福連携紹介」
- ・ 8/21 錦織正智先生(北海道総合研究機構)「クランベリー栽培講座3」
- ・ 11/1 エグモント留学生とご家族と内山早苗先生「障がいのある人たちとのごちやませキャンプ紹介」
- ・ 1/29 矢野先生(Ferme36)「障がいのある方々とのぶどうづくり」

## 実地体験

NPO法人共働学舎さんにて、田植え体験



## 実地体験

### 水辺農園さんにてお米作り体験

- 苗の補植作業
- 田車による除草作業
- はぜかけ作業
- 藁ちらかし作業
- キャンプ場で飯盒炊飯



## 実地体験

# Ferme36さんで大町中学校と一緒にブドウ作業体験

- ブドウのつる入れ作業
- 一粒ずつ実を摘む手除梗作業



## 座学講座

# エグモント留学生とユニバーサルキャンプの報告講座

- 障害有無なく色々な人が二泊三日で農体験やBBQをするユニバーサルキャンプの実践をされてきた内山早苗さんのお話。
- 福祉先進国であるデンマークの国民学校エグモント・ホイスコーレンに留学した学生の体験談。



大町市社会福祉協議会「農福ケアファーム推進事業」講座

～八ヶ岳・ユニバーサル村の自然農体験合宿と  
デンマーク・エグモント留学から学ぶ～

“あたりまえ”に障がいのある人たちと  
体験する・暮らす・生きる

視覚・聴覚・知的・精神障がい、車椅子の方、LGBTなど多様な背景を持つ人々が一緒に参加し、2泊3日で自然農の畑作業、BBQなどを通して企業と交流する”ユニバーサル村研修”が、今秋、山梨県北杜市で開催されました。

また、デンマークのエグモント・ホイスコーレンは、210名中、障がいのある生徒が約4割在籍、寮生活を送りながら助け合い、自分自身と向き合いながら、良き人生を歩むための勇気と自信を持つ大切さを学ぶ国民学校。大町市在住生が約1年間留学をしました。

これらの実践者を講師に迎え、どのような障がいがあっても、あたりまえと一緒に体験して、暮らし、生きていくことのヒントを学び、語り合ってみませんか。



日時：2023年12月4日（月）16時～18時30分（受付開始15時30分）

※懇親会19時～21時

＼お申込みはこちら／

講座会場：①大町市総合福祉センター2F大会議室／  
大町市大町1129（駐車場あり）②オンライン（ZOOM）

懇親会会場：MAICA'S CAFE&KICHEN／大町市平2811-11  
（大町温泉郷バス停前、そば処いろり隣）

講師：内山早苗氏 株式会社UDジャパン 代表取締役会長

ゲスト講師：エグモント・ホイスコーレン留学生、  
留学に送り出した車椅子当事者の保護者の方

講座参加費：無料 懇親会参加費：2,500円（軽食と飲み物・乾杯アルコール付）

問い合わせ先：0261-26-3870（平日9:30～15:30）suzuran@omachishakyo.org（大町市社会福祉協議会すずらん：桑澤）

会場協力：一般社団法人徳広エネルギー工房（就労継続支援B型事業所maica～米花～）MAICA'S CAFE&KICHEN

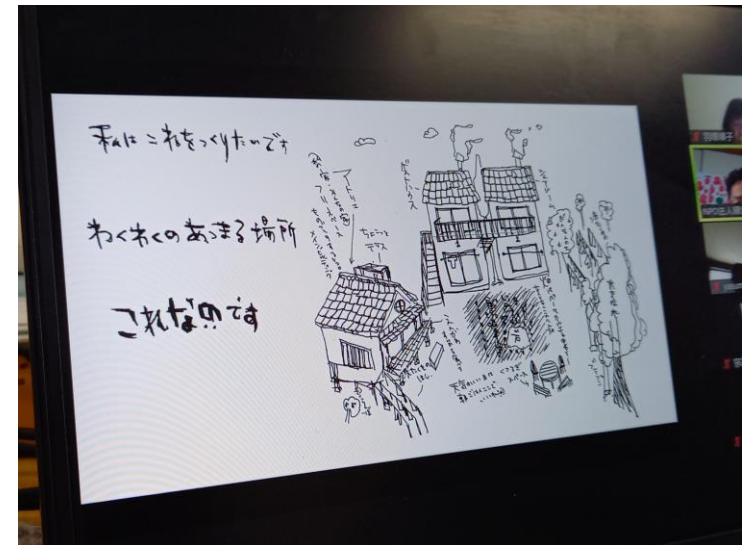
主催：大町市社会福祉協議会（本事業は「日本社会福祉弘済会」社会福祉助成事業の支援を受けています）





# ZOOM講座

- 錦織教授(北海道総合研究機構)によるクランベリー講座×3回
- 杉田さん(NPO法人縁活)による農福連携紹介
- エグモント留学生とご家族と内山早苗先生  
「障がいのある人たちとのごちやませキャンプ紹介」
- 矢野さん(合同会社Ferme36)による「障害のある方々とのぶどうづくり」



## マチスコP

- 大町中学校やボランティアさんと一緒に唐辛子栽培。
- 種まきから収穫、乾燥、へた取り、選別、マチスコ製造。
- マチスコとても好評。JA販売店などに定期納品。  
市内飲食店でマチスコ使用の新商品開発ぞろぞろと。



## お米と小麦P

- ハ坂地域の方々と協働で田んぼ。
- 収穫一部は社協内の給食施設に納品。
- 食育として大町中学校の学生と小麦栽培をし、昔ながらの道具(足ふみ脱穀機、唐箕、石臼)を使って小麦粉に。
- 大町中学校のボランティアさんや地域の方にピザの振る舞い(マチスコピザとても好評)





# ライ麦P

- ライ麦ストローづくり (SDGS商品として販売)
- ラ・カスタさんはじめ、飲食店などで使っていただくことが増えた。
- ヒンメリ講座 (ライ麦ストローの端材を使用して) の実施。



## 柿酢P

- 福祉事業所maicaさんや麴アドバイザーさんと一緒に柿酢のワークショップを開催。
- ワークショップでは柿酢絞り体験と柿酢麴ドレッシングづくり。
- 柿採りや柿酢の仕込みも地域含め実施。
- ワークショップを通して、地域との繋がりづくりをメインに。



## 凸凹まるしえP

- 大町市総合福祉センター入口でゲリラな凸凹まるしえを実施  
(野菜の生育状況に合わせた販売)
- 売れ行き好評。出したらすぐなくなる。
- サロンの利用者さんや入浴にいられた方から食べたい野菜などの要望が届くようになった。







# 体験学習などを通しての利用者さんの様子

- 正直気が乗らないと言いながらも、やり始めると「昔実はやったことがある」と言って調子が出てくる方。
- 「楽しい」「次はいつですか」「次はなにやりますか」とやる気満々に作業される方。
- しんどいときは言ってねと言うと遠慮なくすぐに「しんどい」と言う方。
- 学生や地域の方々と一緒にやるのが好きでよく絡む方。
- 学生や地域の方々と一緒にやるのが苦手で黙々と作業をする方。
- 作業の休憩時に農家さんから差し入れのおやつがあると、顔がにやける方。
- 「みんなとやれてたのしい」「ありがとうございます」と律儀にいいことを言ってくれる方。

# 体験などを通して気がついた事

- 農体験を通して、人と人の「みえない壁」のような偏見が自然と壊れる。
- 農体験の中では「障害あるなし」に関係のない、「出来る出来ない」が見えやすい。
- 天候に左右される、思ったようにいかない、ということによくぶつかる。制御できるものではないということをも身をもって体感するので、考えていた悩みが少しふっとぶ様子が見られる。
- 暑い、寒い、大変、しんどい等が体感できる。感覚や体力がいやおうなしに変わる。
- 農福連携で農業担い手不足を労働力で補うというよりは、仲介に入ることで周囲含めて「引き出す」という感じ。
- 講座で矢野さんが仰った「過程にこそ喜びがある。目先よりも過程の喜びを大事にしたほうが長期的な価値につながる」という言葉に、その通りだと思った。

令和6年度  
大町社協農福連携project(おおまかに)

マチスコP

とうがらし液P

凸凹まるしえP

ライ麦P

お米と小麦P

第3ふれいすP

柿酢P

# マチスコP

●トウガラシを栽培し、大町市を元気にする特産品化の推進。

新しい商品開発もして、目標はふるさと納税！

(大町中学校や地域ボランティアさん、JAとコラボ)



# とうがらし液P

- 不良トウガラシを使って、虫よけトウガラシ液を開発！  
持続可能な農業推進のためのアップサイクル商品に。  
(岳陽高校とコラボ)



# ライ麦P

● ストロー！ヒンメリ！ライ麦パン！

持続可能な循環資源活用モデルづくり！

(地域や北アルプス国際芸術祭やヒンメリアーティストさん、パン屋さん等とコラボしたい)





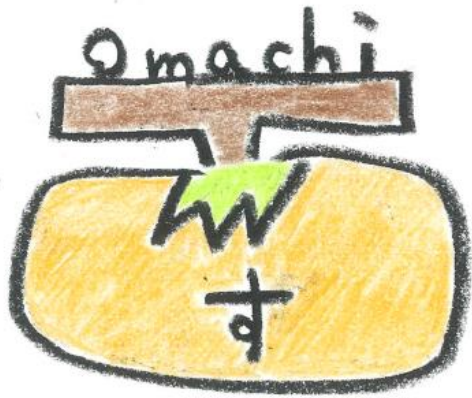
# お米と小麦P

- 地域の自給率UPや食育のきっかけづくり！  
みんなでお米作りや小麦作りをして、  
飯盒炊飯やお餅つきやピザ！（北アルプスオーガニックプロジェクトや地域、学  
校や農家さん、北アルプス農業農村支援センター等とコラボ）



# 柿酢P

- 柿をとり、仕込み、絞り、ドレッシングづくり！  
柿酢のワークショップを地域と一緒にやることを通して、  
元気循環していく形づくり！（福祉事業所maicaさん、麹アドバイザーさん、地域等  
コラボ）



# 第3ふれいすP

- 家族、地域、それ以外の居場所を見つける。  
森や自然やケアファームの中に居場所を見つける。  
森林療法やユニバーサルキャンプなどを通してケアファームのモデルを探す！  
(林業や地域とコラボ)



「引き出す」形で、持続可能な地域づくりを進めたい。

結果より過程にある価値づくりをしたい。

**「農」はたべものをつくること。「福」はみんなですること。**

たべものをつくって、みんなですきて、つながること。

＝農福連携。

つながってくださり、力を貸してくださっている方々。感謝です。

社協ご利用者様、そのご家族様、社協スタッフ、地域ボランティア様、  
合同会社Ferme36様、大町中学校様、JA大北農協様、岳陽高校様、  
maica様、ばいはるちやにみとろ様、小谷村役場様、労働者協同組合  
ワーカーズコープながの様、NPO法人共働学舎様、北アルプスオー  
ガニックプロジェクト様、健菜樂食Zen様、水辺農園様、久保屋様、倉  
り農園様、風媒花様、中村直人様、SUNROQ様、北アルプス農業農村  
支援センター様、地域で柿取りさせてくださる皆さん、農業資材など  
を提供してくださる地域の皆さん、大町市役所様、ハ坂新婦人の会  
様、自主保育マリア様、みあさの森様、荒山林業様、羽塚順子様、株  
式会社アルペンローゼ様、大系タイムス様、有線放送様(順不同)